

新幹線開業記念特別展

そば皿と汽車土瓶

鉄道の旅を 彩った やきもの



2024.03.02 Sat
06.23 Sun

9:00-17:00 最終入館 16:30

会場 | 福井県陶芸館 1-2階 [資料館展示室]

休館日 | 毎週月曜日(ただし4/29(月)、5/6(月)は開館、翌日休館)、3/21(木)

入館料 | 一般800円(陶芸館常設展、古窯博物館常設展を含む)

高校生以下・70歳以上300円、未就学児無料

身体障害者手帳等をお持ちの方と介助者1名は無料

福井県陶芸館
FUKUI PREFECTURAL MUSEUM OF CERAMICS

主催 | 福井県陶芸館
協力 | 信楽汽車土瓶プロジェクト 製作協力 | 社会福祉法人 光道園、福井県立武生商工高等学校
後援 | 福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、こしの都ネットワーク株式会社

鉄道の旅 を彩った やきもの

鉄道の旅を彩ったやきもの、駅そばのそば皿と汽車土瓶。

昭和20年代、氷坂焼（昭和の越前焼）のそば皿は、北陸本線の要であった今庄駅においてスイッチバックの間の僅かな待ち時間に乗客のお腹を満たしていました。

汽車土瓶は、駅弁と共に提供されていたお茶の容器です。明治20年代から昭和40年代まで「鉄道の旅の友」として活躍しました。主に信楽や益子、瀬戸等で生産されました。昭和20年代には福井県においても汽車土瓶の生産が行われ、製作には福井県窯業試験場(当時)も関わり、福井県オリジナルデザインのもので作られていました。

本展では、北陸新幹線金沢-敦賀間の開業を記念し鉄道の旅を彩ったやきもの達に焦点をあて、これらのやきものを見出し文章を残した県内出身の蒐集家・文筆家の秦秀雄氏のまなざしとともに紹介します。

また、今日ペットボトルが主流となり「鉄道の旅の友」の役割から解放された汽車土瓶の「Neo汽車土瓶」としての新たな可能性を信楽汽車土瓶プロジェクトと越前焼作家とともに提示します。

関連行事

展示

Neo汽車土瓶展 信楽と越前

信楽と越前の作家による Neo 汽車土瓶を展示。

日 時 | 会期中

会 場 | 福井県陶芸館 1階資料館展示室

入館料 | 本展観覧券が必要です。

Neo汽車土瓶展 in越前

越前の作家による Neo 汽車土瓶を展示。越前焼の展示販売。

日 時 | 前期 3月9日(土) - 3月15日(金) / イベント 3月9日(土)

後期 4月20日(土) - 4月26日(金) / イベント 4月20日(土)

会 場 | ふくい食の国 291 (東京 銀座)

入館料 | 無料

新幹線の車窓の風景 -新幹線に乗って行ってみよう-

昨年12月に越前町立宮崎児童館においてワークショップを開催。

児童館の子供達の作品を展示。

日 時 | 会期中

会 場 | 福井県陶芸館 1階資料館展示室

入館料 | 本展観覧券が必要です。

バス

JR 武生駅より福鉄バス(武生・越前海岸線)より約30分

「かわいい崎行」「陶芸村口」下車

バスに関するお問い合わせ 福井鉄道株式会社(☎0778-21-0712)

タクシー〈丹南地域定額タクシー〉

JR 武生駅、JR 鯖江駅、北陸新幹線越前たけふ駅から

丹南地域定額タクシー(料金:片道1,000円)がご利用いただけます。

詳しくは、越前町HP、または越前町商工観光課(☎0778-34-8720)までお問い合わせください。

高速道路

武生IC(京都・名古屋方面)・鯖江IC(金沢方面)より約30分

※ 駐車場は越前陶芸村総合駐車場をご利用ください。

ご予約・お問い合わせ

〒916-0273 福井県丹生郡越前町小曾原 120-61 ☎0778-32-3262

イベント

特別講演「駅弁と汽車土瓶」

明治20年代から昭和40年代までの駅弁、汽車土瓶の変遷を紹介。

日 時 | 3月16日(土) 13時30分から15時

会 場 | 越前古窯博物館「天心堂」

講 師 | 河野 真理子氏(元鉄道博物館学芸員)

聴講料 | 無料(ただし本展観覧券が必要です。) ※事前予約要

汽車土瓶に絵付けをしよう!

越前焼の復刻汽車土瓶に絵付けができます。

日 時 | 会期中 ※受付16時まで

会 場 | 福井県陶芸館 陶芸教室

体験料 | 1,500円

担当学芸員によるギャラリートーク

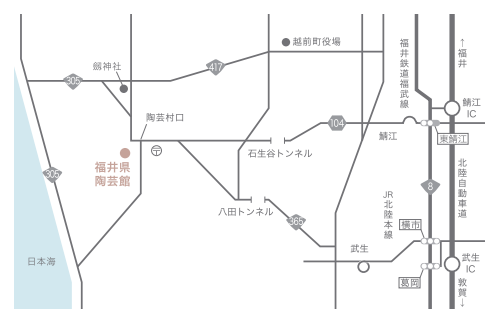
作品の見どころをご紹介します。

日 時 | 3月2日(土)、5月4日(土)、6月1日(土)

各日11時から1時間程度

集合場所 | 福井県陶芸館 2階資料館展示室

聴講料 | 無料(ただし本展観覧券が必要です。)



アクセス